



高島和男がゆく

平成30年2月号

立春にあたり



私は今4つのことを念頭において活動しています。

① 県議会議員として地震の復旧・復興はじめ熊本県の課題に取り組むことはもとより、地域、企業、団体の相談、陳情に真摯に対応して信頼を重ねること。

② 政策立案能力を高めること。議員の本分は県民、市民のために政策を考えて実行に移すことです。時間の許す限り最先端の情報を入りこめるために勉強会や研修会に参加します。

③ 人脈を広げること。相談、陳情を解消するには幅広い人脈が必要になります。ホームページ、SNS等を駆使して情報発信に努め私の活動や考えに共鳴していただきながら拡大します。

④ 健康。健康でなければ何もできません。自己管理に気をつけて即時対応できるようにします。以上4つのことを肝に銘じてこれからもスケールの大きい政策に明るい議員を目指して取り組めます！

早いもので来年は再び審判の時を迎えます。前回以上の厳しい戦いが予想されますがしっかりと準備を進めて挑みます。

最後に今年が皆さんにとって輝かしい飛躍の年になることを祈念して立春の挨拶と致します。

出初め式

1月7日ピーンと張りつめた空気の中、朝10時、白川河川敷で『熊本市消防出初式』が開始されました。熊本市消防職員と消防団員、計二千人による威風堂々の行進から始まり、市長告辞、来賓祝辞、消防団長の気合いの入った挨拶がありました。2部では獅子舞、木遣り歌、はしご乗り、締めくくりは一斉放水。火事や災害、地域行事の先頭に立つのは消防団の皆さんです。自身の貴重な時間を割いて私たちの生命と財産を守る活動に日夜取り組んでいただいていることに敬意と感謝の思いで参列しました。地震をはじめ台風、大雨：自然災害が日常茶飯事となった感があり、いつでもどこで何があっても不思議ではありません。消防団への期待、思いは高まるばかりです。今年は消防関係者の活動が少ないことを祈ったのでした。



鮑田東校区グラウンドゴルフ大会

1月15日『第2回鮑田東校区高島和男杯グラウンドゴルフ大会』を開催しました。数日前からかなり冷え込んでいたので気温だけが気がかりでしたが、おかげさまでスタート時こそ少し寒く感じましたが時間が経つにつれ暖かくなったのでした。



どんど焼き

1月はあちこちのどんど焼き会場を回りました。やはり昔ながらの田んぼのどんど焼きは風情があります。ある校区に行くと、校長先生が子どもたちに「どんど焼きができるのは決して当たり前のことではありません。竹を切りに行った方、土地を貸してくれる方、櫓を組んでいただく皆さんの協力できるところを有り難く感じてください！」と話をされました。燃え上がる炎を見ながら消防団はじめ各種団体の皆さんの伝統行事の継承と、まちづくりに取り組みむ気持ちに感謝の思いを新たにしました。

